

JA 営農情報

№317 令和4年 2月号

農作業事故に注意!!

毎年、全国各地で農作業中の事故が発生しています。トラクターやコンバインだけでなく、耕うん機や刈払機での作業事故も報告されています。

これから田や畑の準備で機械を扱う作業が増えてくるため、事故を起こさないように操作手順等を確認しておきましょう。



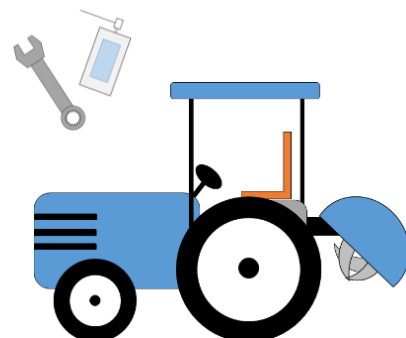
■安全装置の使用

死亡事故の多くはトラクターの転倒・転落によるものです。操縦には慣れているから大丈夫とは思わず、作業時には安全フレームを必ず立てる、シートベルトの着用を徹底することを心がけてください。また、ほ場外を走行するときはブレーキを連結するようにしましょう。

■機械の点検

作業中に機械の調子が悪くなると、畑の準備が遅れて効率が落ちるだけでなく、早く終わらせたいという気の焦りから事故につながる危険性も出てきます。正常に動くかどうかやブレーキの効き具合などを今のうちに点検しましょう。

不具合がある場合は、購入した農機具店にご相談ください。



■危険の把握

事故が発生しやすいのは、「トラックへの積降時」「ほ場に入出する時」などです。危険な場所を事前に把握しておき、安全に作業ができるか特に注意するようにしてください。

また、機械作業の時は周りに人や物がいないか確認し、日没後の暗い時間帯での作業はできるだけ避けるようにしましょう。

事故の最大の原因は・・・

疲れ・慣れ・焦り・気の緩み です！

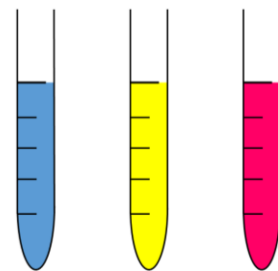
作業前はしっかり休養を取り、無理をせずに余裕を持って作業を行うようにしましょう。



土壌分析のご案内

当JAでは、組合員を対象に無料で土壌分析を行っております。

土づくりにおいて、前もって土の状態を知っておくことは重要です。畑に肥料分がどの程度残っているかを確認することで、次作に入れる元肥や追肥の量を調整する際の目安にもなるので、一度分析を受けてみてはいかがでしょうか？



- ※水稲・野菜どちらでも分析可能です。
- ※土の採取から分析結果が出るまで1か月程度お時間をいただきます。
- ※詳しくは営農経済センター（TEL：641-9050）までお問い合わせ下さい。

たまねぎ栽培管理

たまねぎの追肥はお済みでしょうか？追肥が遅れると球の肥大が遅れたり貯蔵性が悪くなったりするので注意が必要です。追肥後は水はけをよくするために中耕と土寄せを行いましょう。



たまねぎのべと病

また、春先にはべと病の発生が予想されます。葉の光沢がなくなって湾曲し、やがて株全体が枯れてしまう病気で、発病してからの防除は困難です。雨が多いと発病確率が上がるため、必要に応じて薬剤散布をしてください。

《各種相談日のお知らせ》

	法律相談 隔月第2木曜日	税務相談 隔月第4金曜日	住宅ローン・資産相談 毎月第3土曜日	介護相談 随時受付
2月	—	確定申告相談	19日	介護に関する 無料相談受付 まずはお気軽にお問い合わせ下さい。 介護支援センター TEL：627-7767
3月	10日	—	19日	
4月	—	22日	16日	
【実施場所】 農協会館（JA茨木市 本店）3階 小会議室 【受付時間】 午後1時～午後4時 定員は3名ですので、事前にお問合せください。 （無料でご相談いただけます） ふれあい・福祉課 TEL：627-7768			【実施場所】 JA茨木市 各支店	

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種相談会を中止する場合がありますのでご了承ください。



ご利用下さい

- 【テレホンサービス】青果物の市況をお知らせします。 TEL 641-9150
- 【営農110番】栽培方法等ご相談ください。 TEL 641-9050